

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立富士湧水の里水族館	所管課	花き農水産課
所在地	南都留郡忍野村忍草3098-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成13年4月25日
管理方式	指定管理者((株)桔梗屋、平成21年4月1日～平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立富士湧水の里水族館設置及び管理条例		
設置目的	県民に魚とのふれあいの場を提供することにより、自然保護に対する理解を深め、併せて内水面漁業の振興に資する。		
主な施設内容 (定員等)	○施設面積 : 4,000㎡ ○建築面積 : 994.47㎡ ○延床面積 : 1,446.0㎡ ○構造 : 鉄筋コンクリート(地下1階、地上2階、機械棟1棟) ○施設・設備の内容 : 1F 展示フローア(二重回遊水槽等)562.29㎡、2F 学習フローア(シアターホールなど)736.62㎡、事務室・機械室・倉庫等428.64㎡		
主な業務内容	○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○水産動植物の飼養栽培及び展示に関する業務 ○水産動植物に関する講習会及び催しの実施に関する業務 ○その他知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	入館者	128,313	126,930	141,508	
	利用者数合計	128,313	126,930	141,508	
	目標値	147,000	137,000	137,000	141,508
	目標値設定の考え方	過去3年の平均値	過去3年の平均値	前年実績のクリアを目標値とする。ただし、前年の実績が目標値を下回った場合は、前年の目標値を継続する。	前年実績のクリアを目標値とする。ただし、前年の実績が目標値を下回った場合は、前年の目標値を継続する。
	対19年度比	100.0%	98.9%	110.3%	110.3%
稼働率		-	-	-	-

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	32,976,880	37,100,000	36,872,700	35,900,000
	指定管理者委託料		34,669,000	34,669,000	30,088,000
	その他		1,927,000	273,650	268,000
	収入合計(A)	32,976,880	73,696,000	71,815,350	66,256,000
支出	人件費	41,010,418	22,356,000	22,593,242	20,020,000
	県への納付金				
	管理運営費	50,593,645	51,340,000	50,207,667	45,385,000
	(うち外部委託費)(B)	20,776,091	21,000,000	17,167,058	15,200,000
	支出合計(C)	91,604,063	73,696,000	72,800,909	65,405,000
収支差額(A-C)		-58,627,183	0	-985,559	851,000
外部委託比率(B÷C)		22.7%	28.5%	23.6%	23.2%
利用者一人当りの経費		462	253	245	213

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~22年3月、実施方法入館者へのアンケート、回答数: 2,377人
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設全体の満足度	69.9%	21.4%	4.1%	4.6%
各項目の平均	69.9%	21.4%	4.1%	4.6%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・館内、館外ともに手がいれられ、気持ちよく観覧、学習ができた。 ・病気の淡水魚の処理方法、展示方法など関心が高い。 ・お魚に関しての体験、学習がなされ非常に興味深く学習できた。 ・食事管連のスペース、などがほしい。 ・水族館にきた、証拠などがほしい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様のニーズに応えられるよう引き続き展示内容等の充実に努める。 ・食事スペースについては、校外学習についてはシアターホールを開放できるか検討中。 ・証拠になるものについては、防衛施設庁からの補助金の関係で物販が制限されていることから、イベントなどで作成した作品を提供。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 清掃業務、設備保守点検：計画どおりに実施した。 ○ 保安・警備業務：忍野村の魚の学習館と共同実施、計画に加え9月の連休も実施した。 ○ 小規模修繕：耐用年数の劣化により修繕が必要な故障箇所は速やかに対応し、利用者の利便性維持に努めた。 ○ 年間の維持管理計画を作成し、前年度の年間計画に基づき実施し、1年間の結果を踏まえ次年度の計画の作成し、実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 館内清掃や施設の保守などは概ね適切に行われ、館内は清潔に保たれていた。 ○ 施設の点検は、計画時期と異なる時期に実施されているものがあったが、概ね適切に点検が実施されていた。 ○ 利用者の集中する時期は、警備員を配置し誘導するなど、適切に管理が行われていた。 ○ 修繕が必要な箇所は、発生後速やかに対応しており、利用者の利便性維持に努めていた。
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開館日数、開館時間：計画どおり実施した。 ○ 展示、催し：計画どおり実施した。 ○ 受付業務：職員にOJT教育を徹底した。 ○ 公報：新聞告知、パンフレット配布など、計画どおり実施した。 ○ 企画展、講習会、体験教室：計画どおり実施し、利用者から好評であった。講習会、体験教室の延べ参加者数は19,206人であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開館日数、開館時間は計画どおりであった。 ○ 展示されている種類数については、県営時の水準を維持していた。 ○ 展示数量については若干少ない時期も見られたが、指導により補充がされ、利用者の利便性は維持されていた。 ○ 企画展や催しなどは計画以上実施されており、利用者へ魚や内水面漁業への理解に貢献した。
自主事業	<p>自主事業は実施しなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 移動水族館の実施(山梨県立フラワーセンター 7月18日～8月31日、世界の金魚展) 	<p>利用者の利便性向上につながり、水族館の趣旨に添った事業については、県と協議の上積極的に実施すること。</p>
利用状況	<p>平成21年度業務計画比98.2%、H20年度実績比111.5%。入館者数の推移は毎月H20年をクリアーした。県内PRの重点告知をしたことにより、県民に富士湧水の里水族館をアピールした。施設稼働率は100%であった。</p>	<p>入館者数は、指定管理者が年度当初に示していた年度計画をわずかに下回ったが、県営時の平成20年の入館者を115%と上回り、指定管理者導入の効果が現れた。</p>
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 収入：利用料金収入は、入館者が年度当初計画の99.4%であった。 ○ 支出：指定管理者となった初年度は、固定費である委託料のカットを実行した。新聞やテレビ媒体などでの告知を強化したことで、広告宣伝費が大幅に増加した。 	<p>委託料の見直しを行うなど、民間のノウハウを活用しながら、予算効率の高い運営がされていた。</p>
利用者満足度	<p>「館内、館外ともに手がいれられ、気持ちよく観覧、学習ができた」「病気の淡水魚の処理方法、展示方法など関心が高い」「お魚に関しての体験、学習がなされ非常に興味深く学習できた」など、総じて高評価であった。また、「食事管理のスペース、などがほしい」「水族館にきた、証拠などがほしい」などの意見もあった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設全体に対する満足度は、「満足」「普通」が9割以上であり、利用者からの満足度は高かった。また、再び来館したいとの回答も多かった。 ○ 一部、要望などもあったが、指定管理者で対応できるものについては速やかに改善を図っていた。

運営目標の達成状況	<p>広報やイベントの充実をはかるなどしたことにより、入館者数が年度当初の目標値を約10%上回ったことから、概ね達成している。</p>
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「県民に魚とのふれあいの場を提供することにより、自然保護に対する理解を深め、あわせて内水面漁業の振興に資する」という基本に則った運営に取り組んでいた。 ○ 特別展や企画展、講習会などに積極的に取り組んでおり、利用者の利便性向上や魚類、内水面漁業の知識の普及などが図られていた。今後もこれらに積極的に取り組むこと。 ○ 一方で、展示数量が若干少ない時期や、器具の故障期間が見られたが、指摘に対する改善や、修繕が速やかに行われていた。展示内容の充実と、設備の維持管理を徹底し、利用者への利便性向上により一層取り組むこと。
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本理念を理解し運営している。 ○ 幼稚園・保育園・小学生など子供達の学習の場として利用させている。 ○ 利便性を考慮し、利用者の立場に立った運営を心がけている。(利用者目線) ○ 利用者の立場に立った、淡水魚の特性を生かした特別展・企画展などに積極的に取り込んでいる。

7. 管理体制(組織図)

